夕刊 臺灣日日新報 (第二號) (項許一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十七年九月十六日 (水曜日) 臺灣日日新報 第一万五千二百七十八號 (一)

滿洲建國十周年

畏くも皇帝陛下御臨 國都南嶺曠古の盛典 帝壽萬歲奉唱一萬諸員

【新京十五日發同盟】滿洲國建國十周年慶祝の第二段として畏くも皇帝陛下の御臨幸を仰ぐ國都南嶺の慶祝典は十五日午前十時より盛大に擧行された、この日午前十時十五分皇帝陛下には御召列車にて新京驛に御到着あらせられ直ちに御馬車にて南嶺の慶祝會場に臨御あらせられたが、この時滿洲國の二千の兵士と滿洲國在住の日本軍人軍屬の代表者三萬二千餘の熱烈なる奉迎を受けられたのであつた、一萬諸員は午前九時までに南嶺の慶祝會場に參集を終つたが、この日は朝から曇天で午前十一時二十六分頃には遂に雨となつたが、皇帝陛下には雨中を御馬車にて會場に臨御あらせられ、次いで滿洲國國歌奉唱、國旗掲揚、滿洲國皇帝陛下萬歲三唱、滿洲國國務總理大臣奉讀の慶祝詞、皇帝陛下の勅語、滿洲國國務總理大臣の謝詞奉讀、滿洲國國務院參議府參議長の祝辭、滿洲國國務院總務廳長の祝辭、滿洲國國務院各部大臣、最高法院長、監察院長、滿洲國軍最高顧問、滿洲國軍將官、滿洲國軍軍官學校生徒代表、滿洲國軍軍士官學校生徒代表、滿洲國軍軍官學校生徒代表、滿洲國軍軍士官學校生徒代表、滿洲國軍軍士官學校生徒代表、滿洲國軍軍士

（第三種郵便物認可）

滿洲建國十周年を壽ぐ

四海壓す萬歳の轟き

島都・會衆二萬餘名場を埋む

この日十五日、臺灣各地における滿洲國建國十周年奉祝式典は東京日比谷公會堂の中央式典に呼應して午前十時から新公園で擧行された、官民有力、學生、靑年團、婦人團、在鄕軍人、官公衙、學校、銀行、工場、會社、商店、各種團體を始め各界各層より參集した會衆二萬餘名の市民は、會場を先頭に續々と參集、定刻前既に會場は滿堂立錐の餘地なく、百田臺北州知事、伊藤臺北市長、井出臺北地方法院長、藤山臺北憲兵隊長、アラン・デ・ル・デルレン佛印總督主席官代理、野田代理司令官、各官衙學校長、各團體代表者等主賓席に着席、午前十時正、君が代奏樂裡に式典は開始された。

市民

は敬虔な面持で先ず國旗に對し、次で宮城遙拜を行ひ、次に滿洲國皇帝陛下、日本國天皇陛下に對し奉り各々最敬禮を捧げた。

國家

人民にとつて最も大切なものである、滿洲國の建國と大東亞戰爭の勃發、即ちこの兩者の關係こそは今日の我々にとつて最も重要なことである、

盟邦

滿洲國は建國以來、日滿兩國の間に結ばれた日滿議定書の精神に則り、終始一貫、心から日滿一德の實を擧げ、今や滿洲國の發展は、日本國の發展であり、日本國の發展は、滿洲國の發展であるといふ關係にまで到達してゐる、

友邦の發展を祝福

長谷川總督祝辭

本日滿洲國建國十周年慶祝の式典を擧行せられるに當り、謹んで滿洲國皇帝陛下に對し奉り、最大の慶祝を捧げ、聖壽の萬歳を奉祝申上げます、

獨立の榮光燦然

安藤軍司令官祝辭

本日滿洲國建國十周年の祝典を擧行せられるに當り、謹んで滿洲國皇帝陛下に對し奉り、最大の慶祝を捧げ、聖壽の萬歳を奉祝申上げます、

盟邦と倶に偉業完遂

森部慶祝會臺灣支部長式辭

盟邦の隆昌を欣ぶ

民間代表　河村徹氏祝辭

東北

遼遠

發展

新興

我國

慶祝會本部宛電報を發送

基隆

淡水河治岸の

漁撈水泳競技

滿洲

盟邦

航空人に聽く（3）

大人の航空思想低調

臺灣航空協會　塚原勇造氏談

二國志

(860)　吉川英治作　矢野橋村畫

空瓶は

臨は記録的增産

開係者感謝奉告祭

急性淋疾　慢性淋疾

その他凡ゆる化膿症に
内服による化學療法

ザオキンは、化學療法に於ける有効根基を最も高率に含有してゐるからその効果は極めて迅速である。僅か數日にして止痛止膿し、速かに治癒に導く。尙有害菌及毒にのみ作用し健康細胞や血球に對しては何等の被害なく、從つて副作用の心配はない。

50錠	¥1.50
100錠	¥2.80
180錠	¥4.80
250錠	¥6.50

郵函にあり
東京神田神保町三
アルス藥品部

ズルフオンアミド劑の最高規格品

ザオキン

メヲマ特製ポマード

秋口のお髪の手入れに最も衞生的です！

氣脚伏潛

氣脚・養榮・腸胃劑

乳兒に末粉

のんやち赤

肝油劑の價値はA・Dの含有量で決まる

糖衣ビオスゼリー

子供のビタミンAD劑

一粒のビタミン含有量　A五〇〇〇國際單位　D一〇〇國際單位

やはらかくてお菓子のやうに美味しい
子供の好き嫌ひ・肝油劑

製造元　葛原工業所藥品部
東京市下谷區竹町一二

臺灣日日新報　第一萬五千二百七十八號　昭和十七年九月十九日（水曜日）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　（第二版）

臺灣昌新報

日本夕刊共六頁

臺灣ヒオスゼリー　台北販賣元

滿洲建國十周年を祝す

けふ盛大な祝賀會

國軍五千の大觀兵式

【新京十五日發同盟】滿洲國建國十周年を祝ふ祝賀會は十五日午前十時より新京特別市大廣場に於て盛大に擧行された、滿洲國政府、滿洲國軍、滿洲國協和會、滿洲國在留邦人代表者等參列、國都新京は朝來の雨も晴れ上つて秋晴れの好天氣となり、午前九時頃から滿洲國軍、滿洲國警察隊、滿洲國協和會、滿洲國在留邦人代表者等は續々會場に參集、會場は滿洲國國旗と日滿兩國國旗を交叉した國旗の波で埋まり、會場の中央には大きな祝賀塔が建てられ、その周圍には滿洲國國旗と日滿兩國國旗が交叉して飾られ、祝賀塔の前には參列者の爲に椅子が並べられた、會場の周圍には滿洲國軍、滿洲國警察隊、滿洲國協和會、滿洲國在留邦人代表者等が參列者の入場を整理してゐた、午前十時、滿洲國軍軍樂隊の奏する滿洲國國歌の演奏と共に滿洲國國旗が祝賀塔の頂上に掲げられ、滿洲國國旗掲揚と同時に滿洲國軍の五千發の禮砲が轟き渡つた、次いで

社說

スターリングラード潰ゆ
歐洲戰爭は愈よ長期戰へ

一

獨逸が後援を傳へられながらも過去三箇月に亙つて死守し來つた獨ソ戰の重要なる一環たるスターリングラードのソ聯軍も、獨逸側の壓迫を受けた後から後から新手を繰り出される獨逸機械部隊の攻撃に耐へ切れず、十三日遂に全線潰滅の已むなきに至つた。

獨逸參謀本部の發表によると獨逸は早くもスターリングラード攻略に固執、百餘日間と雖も戰ひ拔いて來た獨逸軍の戰略をうけて後方補給を斷絶する意圖の下に、ここに同地からの脫出を計つてゐるといはれる。從つてここに同地からの脫出をはかり、いはゆるスターリングラードの陷落は單に四日の問題となるばかりでなく、今年に於ける獨ソ兩軍最大のヤマともみられてゐたスターリングラード攻防戰もここに獨逸の最終的勝利に歸し、獨逸側の戰略は着々として實現されつゝあるを認めざるを得ない。

二

かくて今年の獨ソ戰は未曾有の大なる獨逸側に傾きやゝ、久しくも決定に歸するに至つた。この間さかんに獨逸軍側のために第二戰線結成が叫ばれたが、戰況に變る小兵力しかなかつたばかりか、獨逸側は英米側の第二戰線結成の意圖を看破してゐたばかりか、その實現を阻止すべく、ソ聯の背後に當る中近東に對する英ソ兩軍の進出を許すと共に

友邦の建國を言ぶき 滿國正史編纂獻上

電燈料金を統一改正

逓信大臣より各配電會社に通達

若人よ來れ！大空へ

空軍の華・少年航空兵募集

帝壽萬歲を唱和

國都・慶祝一色に明け

武勳の特設勞務奉公團

臺北・新竹・兩州隊元氣で歸る

時局の姿を語る座談會 (一)

"平面"から"立體"へ

戰爭作戰樣式も時代と共に變遷

豆畫伯彩管揮ふ

鳳凰陽地方颱風害狀況

日本人留學生の美國脫出

今日の映畫

大原齒科醫院

戰局樞軸側に優勢
地球を覆ふ未曾有の動亂
獨波戰以後の大戰日記

【東京發同盟】國際聯盟は昭和十四年（一九三九年）九月一日に始められ、ついで英佛の對獨宣戰、イタリアの參戰となり、第二次ヨーロッパ戰爭はここに始まり、早くも第三年を迎へ、世界大戰に發展し、史上未曾有の大動亂が地球を覆ふに至つた國際聯盟發展のうちに概觀されつつあるが、開戰から今日までの大戰日誌を纏めてみる

昭和十四年 八月 英佛、獨の要求拒絶、獨ソ不可侵條約成立
九月 獨軍波蘭へ侵入、英佛獨に宣戰
十一月 アメリカ新中立法發令
昭和十五年 三月 新中國政府成立
四月 獨軍、丁抹、諾國に進駐
五月 チャーチル內閣成立、獨軍白蘭に進擊、白國降伏
六月 イタリア參戰、獨軍パリ入城、佛國降伏
七月 ペタン元帥國家主席就任
ソ領ベルト三國を併合
九月 日獨伊三國條約締結
十月 ルーズベルト三選
十二月 獨ソ國境衝突
昭和十六年 一月 ルイ大統領就任
獨軍ブルガリアに進駐
三月 米の武器貸與法成立
四月 ユーゴ、獨に降伏、日米交渉
五月 獨軍ビスマルク號フッド號を撃沈してのち撃沈される
六月 獨ソ戰開始

軍官有力者を委囑し
皇奉臺南支會の運動活潑化

【臺南特電】皇奉臺南支會では本部の活潑なる活動を助くる爲め、同會出身の軍官有力者を委囑し、積極的活動を行ふ

若き少年徒の夏の練成日誌
共榮圈指導者に

橋山國民學校六年 吉村隆興記

訓練報國への姿
員林道場の練成計畫

稻荷神社を
臺中市の內神に

【臺中發電話】臺中神社の境內に

賜金傳達式

臺中州下四ヶ所

【臺中特電】臺中州下に於ける

新生息吹き
……ヒリツピンの生態
皇軍庇護下、平和鄕出現

金屬類特別回收
臺南州下の日割決定す

【臺南特電】臺南州下の金屬類特別回收は愈〻廿一日から廿六日の六日間に亙り全州下一齊に實施されることに決定したが、各郡市の回收日割は次の如く決定した

皇國青年育成へ
員林郡青少年團員練成

警察行政の簡素化
高雄州警察部で檢討す

新竹商業の練成
時局に則應した企て！

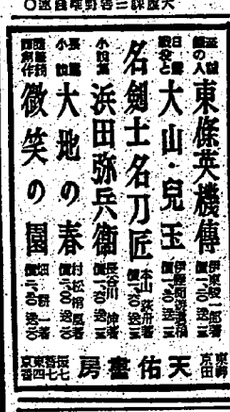
新竹秋競馬
二日目の成績

支部豫選へ
屏東國防競技選手

男女青年團一丸
曾文郡で水稻耕種改善に成功

種馬牧場の經營
畜産會が高雄州へ移管か

馬公街の司法
保護週間運動

共同計算を實施
パナナの圓場制度撤廢

愛の赤道
（186）
竹田敏彥 部竹伸一畫